

「学校外教育費用に関する実態調査」

(平成16年度)
～ アンケート結果の概要 ～

<お問い合わせ先>

東京都千代田区大手町1-9-3
国民生活金融公庫総合研究所
電話 03-3270-1361 内線519
情報開発課 中谷、高橋
(夜間直通 03-3270-1384)

学校外教育の受講割合は全体の2割 ～ 高校生では45%が受講、目的は受験対策～

| | |
|---------|--|
| 調査時期・対象 | 平成16年6月、「国の教育ローン」を平成16年2月に利用した世帯 |
| 回収数 | 3,393件(回収率29.3%) (うち勤務者世帯2,651件について集計) |

～ 主な調査結果(勤務者世帯)～

1 学校外教育の受講割合は全体で21.3%、高校生では44.8%(本文2,3ページ)

学校外教育を受講している子供の割合は、全体では21.3%となった。在学先別にみると、高校生が44.8%と最も高い割合となっており、短大生(23.8%)がそれに続いている。

学校外教育を受講していない理由は、「必要性を感じない」(31.4%)、「子供が希望していない」(27.6%)、「費用の負担が重い」(23.5%)の順となっている。

2 高校生は受験、大学生は実学(本文4,5ページ)

学校外教育の内容をみると、高校生では受験に向けた「学習塾、進学塾、予備校など」が45.5%と最も多い。一方、大学生では「英会話学校、語学学校など」(16.3%)、「検定受験を目的とした学校」(5.9%)などの割合が相対的に高く、実学志向が強いことが伺える。

1カ月あたりの受講回数は、5回以上が高校生では48.8%、大学生では42.5%となった。

1カ月あたりの受講時間は、高校生では10時間以上が40.2%で、平均11.9時間となった。

3 年間の受講費用は、高校生で26万円、大学生で21万円(本文7,8ページ)

学校外教育にかかる年間の受講費用は、高校生が25.5万円、大学生が20.9万円となった。

受講内容別にみると、「学習塾、進学塾、予備校など」が32.0万円、「家庭教師」が27.8万円となっている。

受講費用について、「保護者が全額負担している」とする割合は、高校生で97.4%、大学生では79.0%となっている。また、年収が少ない世帯ほど、その割合は低くなっている。

学校外教育費用に関する実態調査結果

調査要領、回答世帯の概要

調査結果

- 1 学校外教育の受講状況
 - (1) 学校外教育の受講状況
 - (2) 学校外教育を受講していない理由
- 2 学校外教育の受講の実態
 - (1) 受講内容
 - (2) 1カ月当たりの受講回数と受講時間（在学先別）
 - (3) 1カ月当たりの受講回数と受講時間（受講内容別）
- 3 受講費用の実態
 - (1) 受講費用
 - (2) 受講費用の負担者

調査要領、回答世帯の概要

1 調査要領

| |
|--|
| 調査対象：「国の教育ローン」を平成16年2月に利用した世帯 |
| 実施時期：平成16年6月 |
| 発送件数：11,569 件 |
| 回収数：3,393 件（回収率29.3 %） うち勤務者世帯 2,651件 |

「国の教育ローン」の概要

- 利用対象
世帯の年収が990万円（事業所得者は770万円）以内（注）で、下記の学校に入学・在学する子供のいる世帯。
- ・高校、高等専門学校
 - ・短大、大学、大学院
 - ・専修・各種学校、予備校など
 - ・海外の学校（高校、短大、大学など）
 - ・その他職業能力開発校などの教育施設
- （注）平成14年4月から年収上限額は1,210万円から990万円（事業所得者は990万円から770万円）へ引き下げられた。
- 融資額
学生・生徒 1人当たり200万円以内
- 用途
- ・入学費用（学校納付金、受験費用など）
 - ・在学費用（授業料、アパートの家賃、通学費など）

2 回答世帯の概要

（1）主たる家計維持者の職業（単位：%、以下同じ）

| 勤務者 | 個人事業主 | 法人経営者 | その他 |
|------|-------|-------|-----|
| 79.1 | 12.1 | 5.1 | 3.7 |

（2）集計対象にした子供の在学先（勤務者世帯）

| 高校 | 専修・ 各種学校 | 短大 | 大学 | その他 |
|------|-------------|-----|------|-----|
| 18.2 | 24.4 | 6.1 | 48.9 | 2.5 |

（3）主たる家計維持者の年齢（勤務者世帯）

| 44歳以下 | 45～49歳 | 50～54歳 | 55歳以上 | 平均 |
|-------|--------|--------|-------|-------|
| 14.4 | 37.1 | 34.3 | 14.2 | 49.3歳 |

（4）世帯の年収（平成15年）（勤務者世帯）

| 200万円未満 | 200万円以上 400万円未満 | 400万円以上 600万円未満 | 600万円以上 800万円未満 | 800万円以上 900万円未満 | 900万円以上 | 平均 |
|---------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------|---------|
| 1.9 | 7.1 | 21.3 | 35.0 | 16.7 | 18.0 | 686.6万円 |

（注）調査対象世帯が「国の教育ローン」を利用した時点の年収上限額は990万円である。

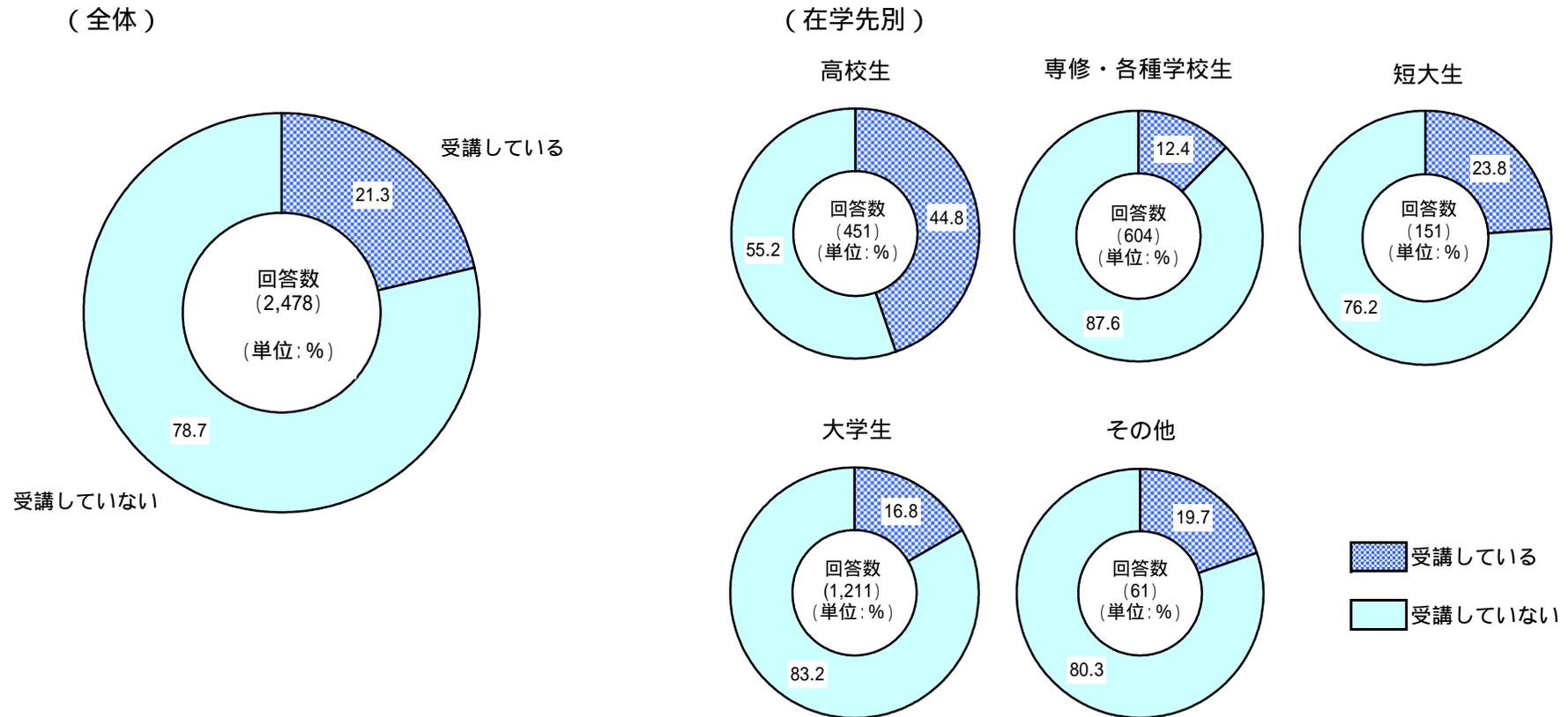
調査結果

1 学校外教育の受講状況

(1) 学校外教育の受講状況 - 学校外教育を受講している子供の割合は21% -

学校外教育を受講している子供の割合は、全体では21.3%となった(図-1)。在学先別にみると、高校生が44.8%と最も高い割合となっており、短大生(23.8%)、その他(19.7%)がそれに続いている。

図-1 学校外教育の受講状況(全体・在学先別)

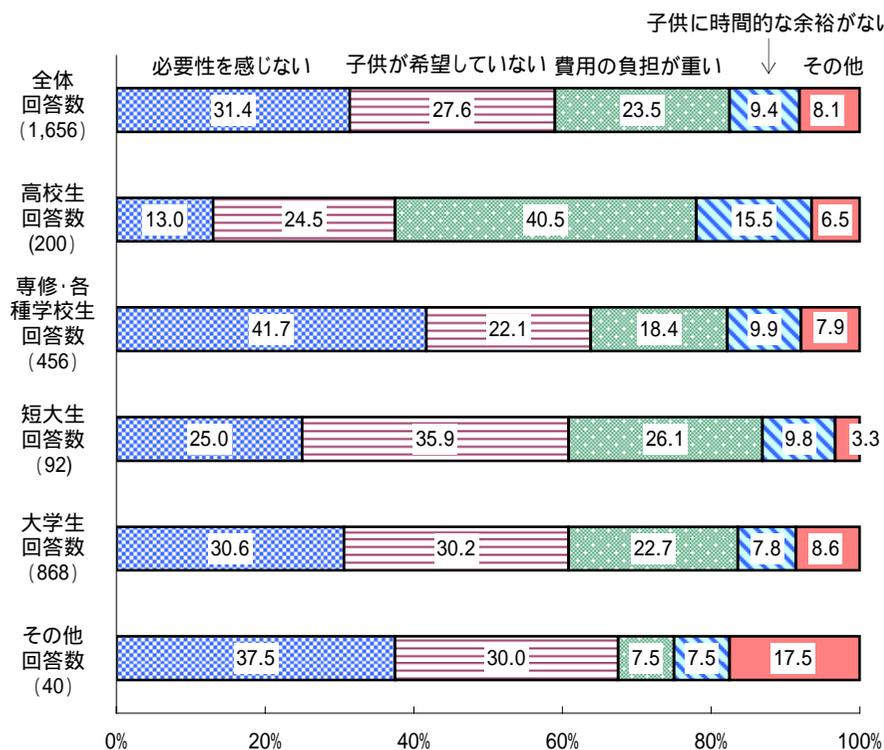


注:「その他」とは、大学院、海外の学校、予備校、その他の学校に在学する学生である。

(2) 学校外教育を受講していない理由 - 高校生では「費用の負担が重い」が4割を占める -

学校外教育を受講していない子供（回答者数全体の78.7%、図 - 1 参照）についてその理由をみると、全体では「必要性を感じない」とする割合が31.4%と最も高く、以下「子供が希望していない」（27.6%）、「費用の負担が重い」（23.5%）と続いている（図 - 2）。
 在学先別にみると、高校生では「費用の負担が重い」とする割合が40.5%となっている（図 - 2）。一方、「必要性を感じない」とする割合は13.0%と、在学先別では最も低くなっている。
 世帯の年収別にみると、年収が少ないほど「費用の負担が重い」と回答した割合が高く、「年収400万円未満」では31.7%となっている（図 - 3）。

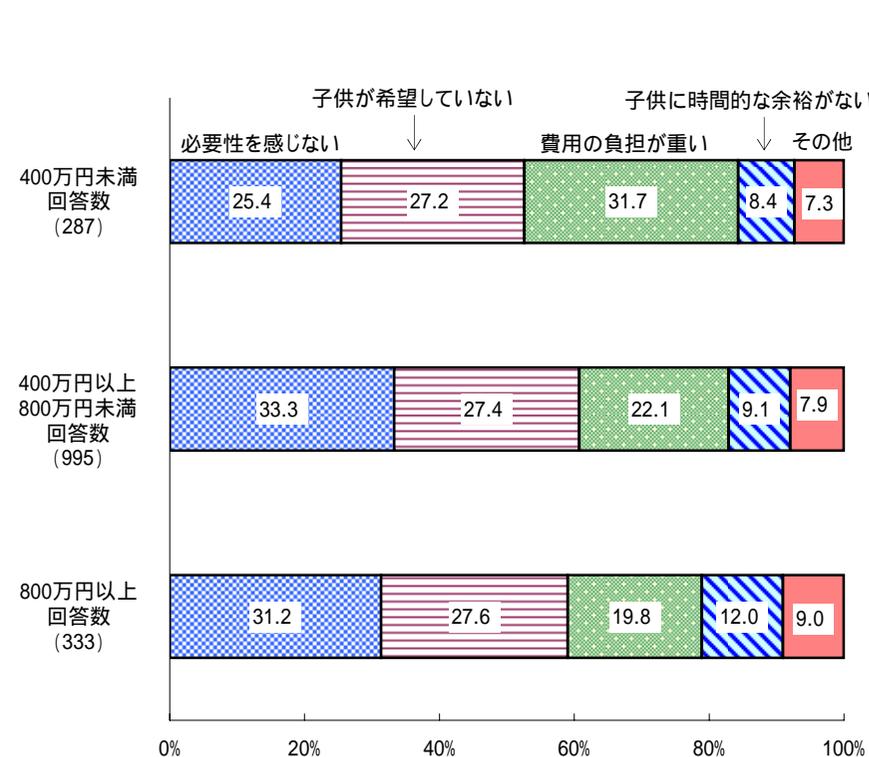
図 - 2 在学先別にみた学校外教育を受講していない理由



注 1：図 - 1に同じ。

2：集計対象である子供が学校外教育を受講していない世帯を対象に集計した。

図 - 3 世帯の年収別にみた学校外教育を受講していない理由



注：図 - 2の注2に同じ。

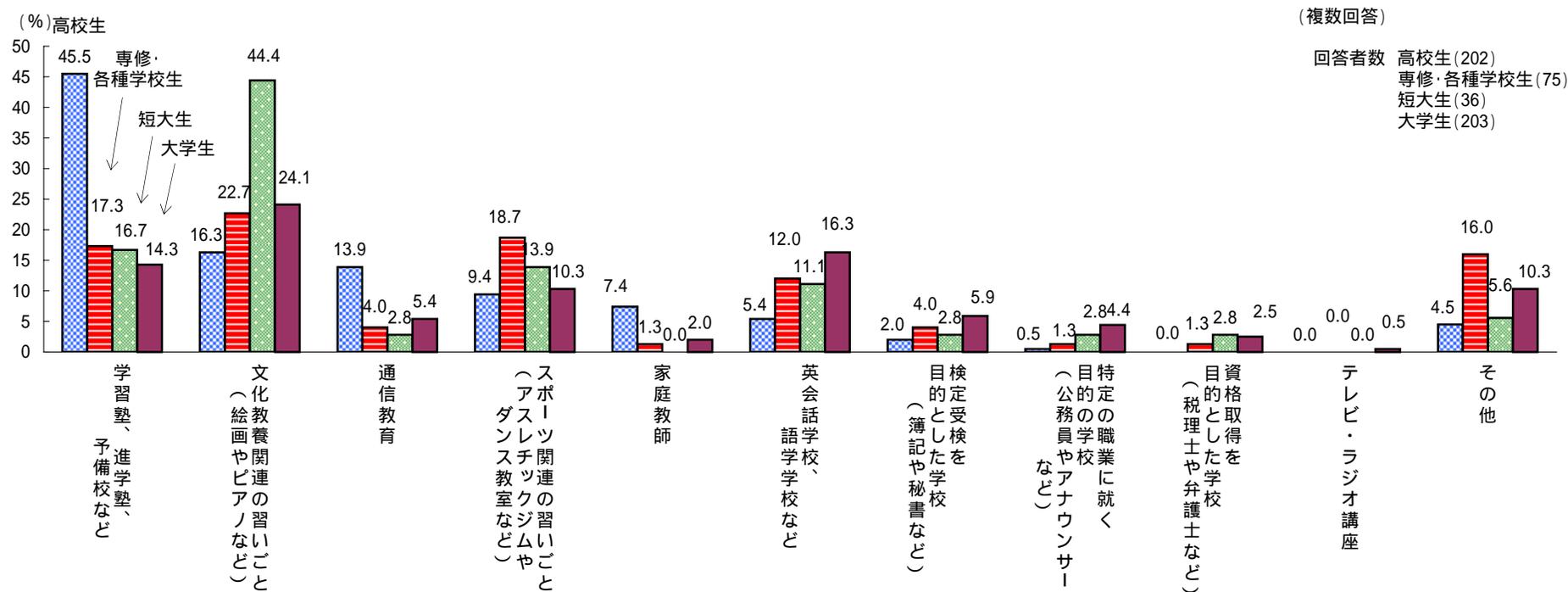
2 学校外教育の受講の実態

(1) 受講内容 - 受験目的が多い高校生、実学志向が強い大学生 -

学校外教育を受講している子供（回答者数全体の21.3%、図 - 1 参照）の受講内容についてみると、高校生では受験に向けた「学習塾、進学塾、予備校など」が45.5%と最も多く、「文化教養関連の習いごと」（16.3%）がそれに続いている（図 - 4）。

大学生では高校生、専修・各種学校生、短大生に比べると、「英会話学校、語学学校など」（16.3%）、「検定受験を目的とした学校」（5.9%）、「特定の職業に就く目的の学校」（4.4%）とする割合が相対的に高く、実学志向が強いことが伺える。

図 - 4 在学先別にみた学校外教育の受講内容



注：集計対象である子供が学校外教育を受講している世帯を対象に集計した（以下同じ）。

(2) 1 カ月当たりの受講回数と受講時間 (在学先別) - 高校生は5回以上が 5 割、10時間以上が 4 割 -

学校外教育の1カ月当たりの受講回数は、高校生では5回以上受講している割合が48.8%で平均7.1回となった(図-5)。一方、専修・各種学校生は41.1%、短大生は53.6%、大学生は42.5%となっている。

1カ月当たりの受講時間は、高校生では10時間以上受講している割合が40.2%で、平均では11.9時間となった(図-6)。

図 - 5 学校外教育の受講回数
(在学先別、子供1人、1カ月当たり)

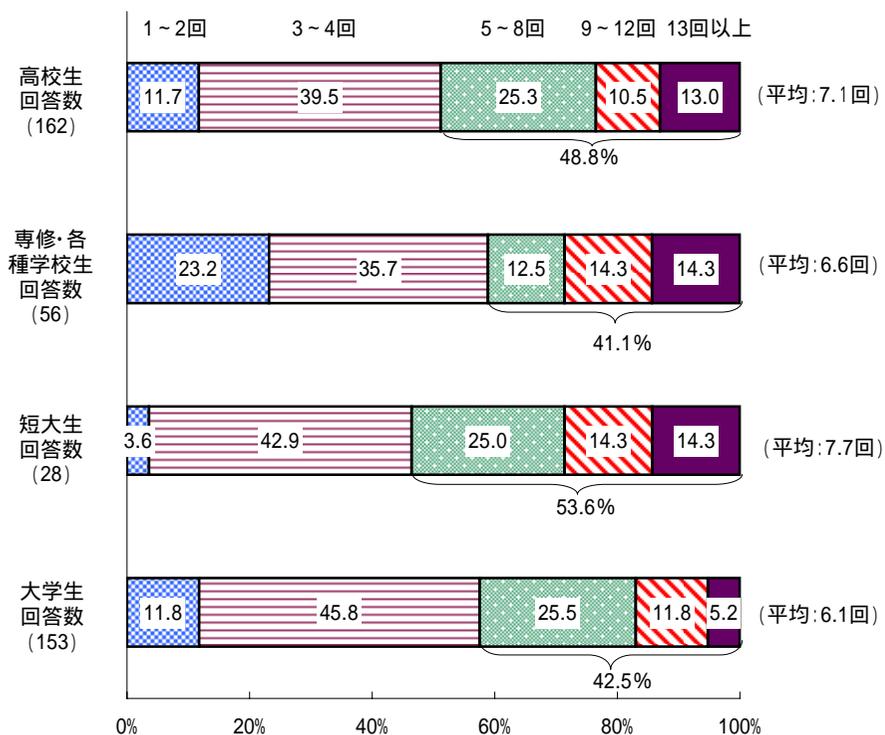
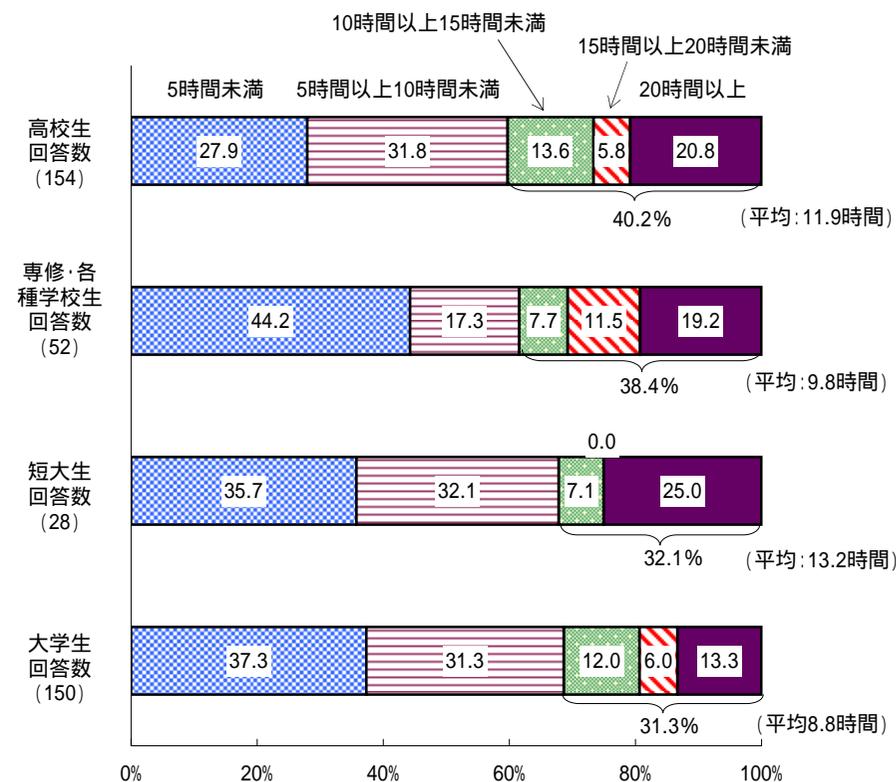


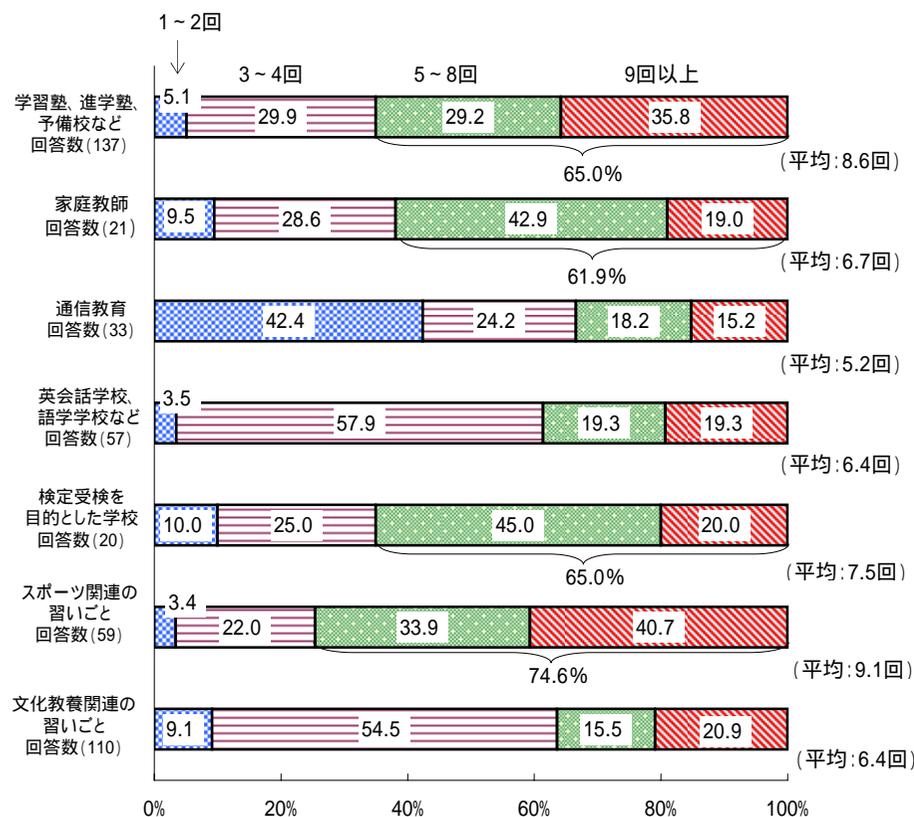
図 - 6 学校外教育の受講時間
(在学先別、子供1人、1カ月当たり)



(3) 1カ月当たりの受講回数と受講時間(受講内容別) - 「学習塾、進学塾、予備校など」は平均で8.6回、15.5時間 -

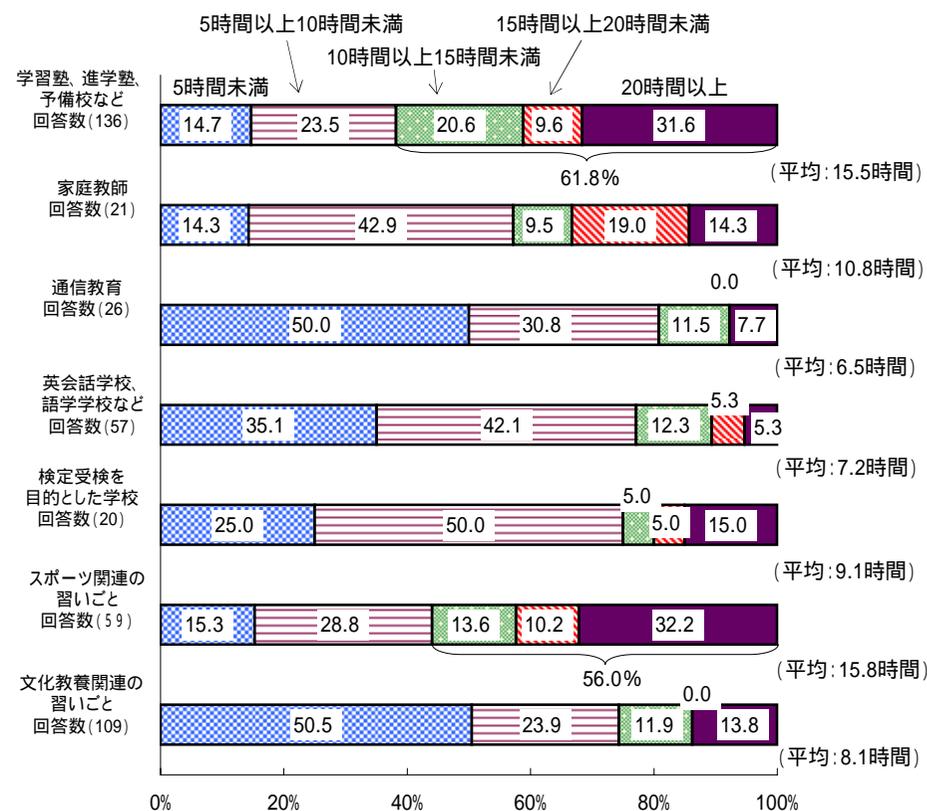
受講内容別に受講回数をみると、「学習塾、進学塾、予備校など」(1カ月平均8.6回)、「家庭教師」(同6.7回)、「検定受験を目的とした学校」(同7.5回)、「スポーツ関連の習いごと」(同9.1回)で、5回以上受講している割合が6割を超えている(図-7)。1カ月当たりの受講時間は、「学習塾、進学塾、予備校など」(平均15.5時間)で、10時間以上受講している割合が6割を超えている(図-8)。

図-7 学校外教育の受講回数
(受講内容別、子供1人、1カ月当たり)



注：学校外教育の主な受講内容について集計した。

図-8 学校外教育の受講時間
(受講内容別、子供1人、1カ月当たり)



注：図-7に同じ。

3 受講費用の実態

(1) 受講費用 - 高校生は年間26万円、大学生は21万円 -

学校外教育にかかる年間の平均受講費用は、高校生が25.5万円、大学生が20.9万円となっている（図 - 9）。
 受講内容別にみると、「学習塾、進学塾、予備校など」が平均32.0万円、「家庭教師」が同27.8万円、「検定受験を目的とした学校」が同25.9万円となっている（図 - 10）。「学習塾、進学塾、予備校など」では40万円以上の割合が32.9%となっている。

図 - 9 学校外教育の受講費用（在学先別、子供1人、年間）

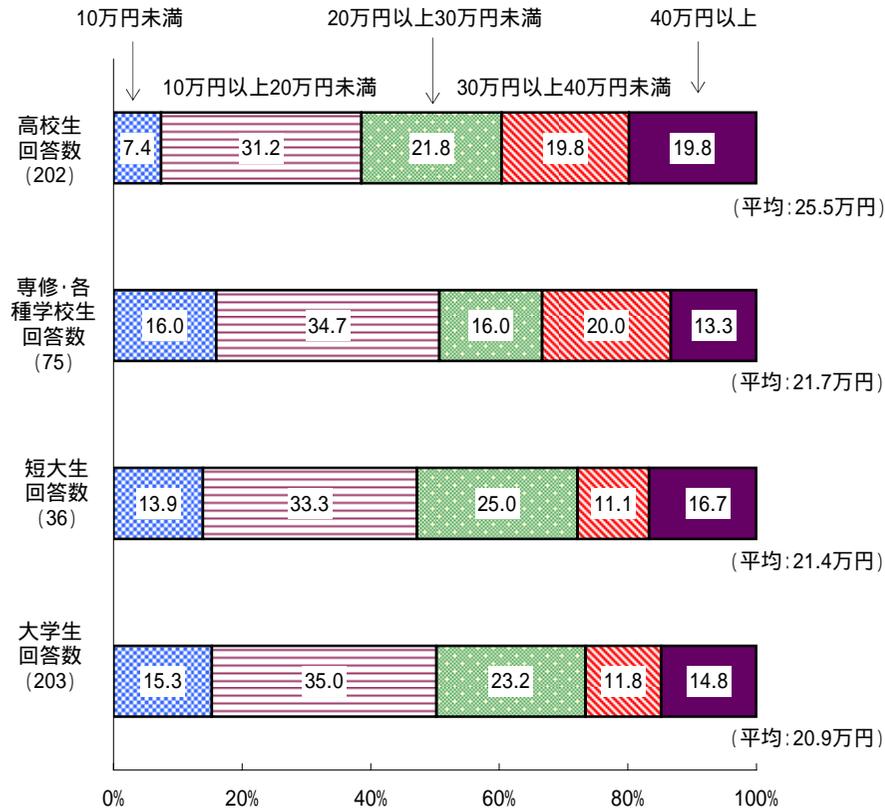
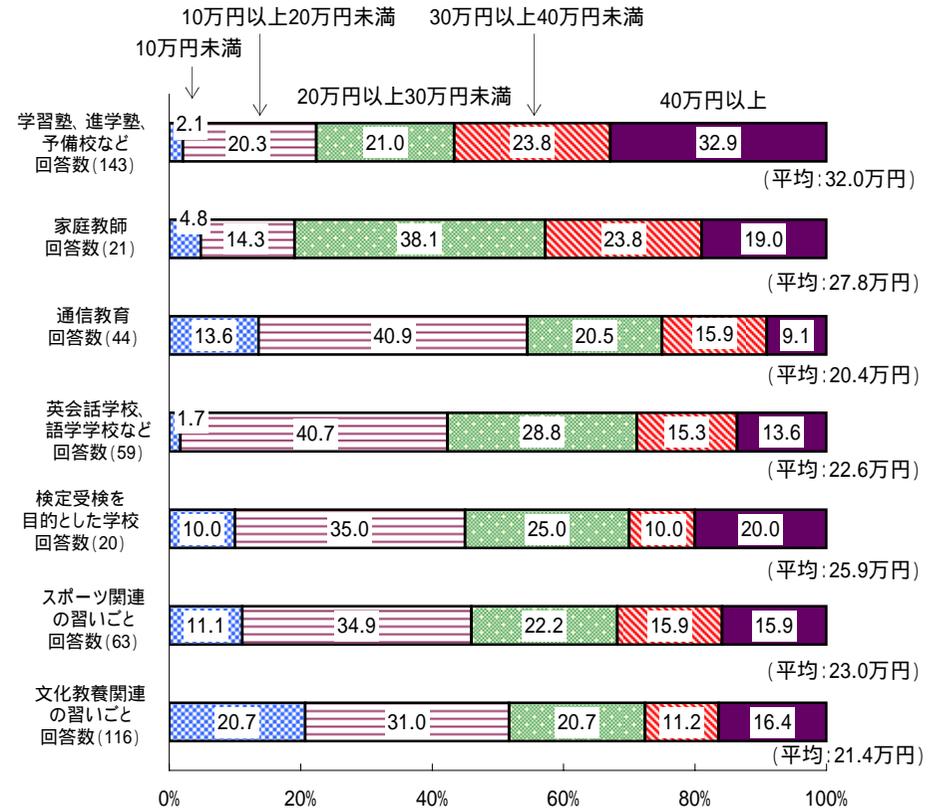


図 - 10 学校外教育の受講費用（受講内容別、子供1人、年間）



注：図 - 7 に同じ。

(2) 受講費用の負担者 - 大部分を保護者が負担 -

学校外教育の受講費用を「保護者が全額負担している」とする割合は、高校生で97.4%、大学生では79.0%となっている(図-11)。年収が少ない世帯ほど「保護者が全額負担している」割合は低くなっている(図-12)。

図-11 学校外教育の受講費用の負担者

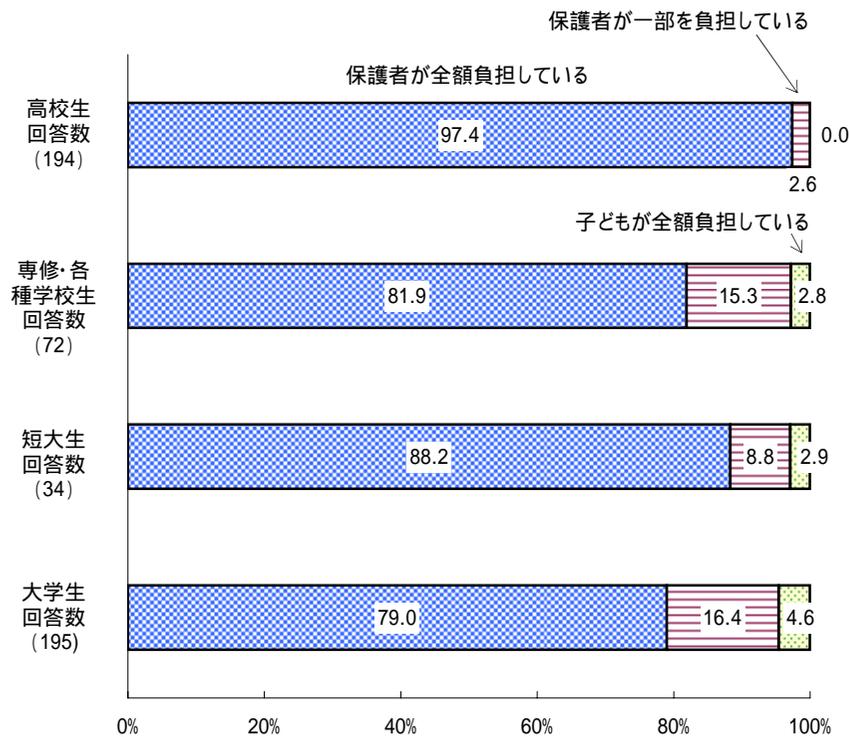


図-12 世帯の年収別にみた学校外教育の受講費用の負担者

